

## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第3回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和5年12月22日(金) 開会:午後1時30分 閉会:午後3時10分		
開催場所		守谷市役所 全員協議会室		
事務局(担当課)		健幸福祉部 健幸長寿課		
出席者	委員	城賀本会長、星野委員、宇野委員、坂本委員、柏崎委員、津留崎委員、堀込委員、宮原委員、吉沼委員、本台委員 計10名		
	その他	守谷市北部地域包括支援センター 吉澤管理者、 吉田主任介護支援専門員 守谷市南部地域包括支援センター 石塚管理者、 工藤主任介護支援専門員 計4名		
	事務局	滝本健幸長寿課長、小林介護福祉課長、市村健幸長寿課課長補佐、 山崎係長、宮下係長、澤辺係長 計6名		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 地域ケア推進会議について (2) 地域密着型サービス事業所の指定更新について 4 報告事項 (1) 総合相談事例報告について 5 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和6年2月2日		城賀本 満登		

## 審 議 経 過

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 協議事項

#### (1) 地域ケア推進会議について

南北の地域包括支援センターから令和 5 年度の活動報告の報告、会議の実施内容とそこからみえる地域課題について説明を行った。事務局から委員に地域課題解決に向けたご意見をいただいた。

#### 【主な意見等】

事務局：介護保険サービスの利用中やその後の地域活動の場についてですが、高齢者の皆さんが気軽に利用できるような施設などの情報が不足しているように思います。当課の高齢者サロン担当でも情報の収集を行っておりますが、民間等のものを含めると現状ではなかなか情報の集約が難しいです。地域住民同士で開催しているサロンや茶話会などの開催といった活動内容をお聞きしたことがあります。委員の皆さんで何か情報を把握していたら伺えますか。

委員：地域活動の場、居場所の不足という課題に対してですが、社会福祉協議会の支部活動の一部を紹介させていただきます。

みずき野支部では、郷州小学校の空き教室を利用した「元気サロン」の中で毎週木曜日に「おしゃべりカフェ」というものを開催しています。守谷や高野支部では、全国的に話題になっている「子ども食堂」を「地域食堂」と称して、子供だけでなく多世代の世代間交流として地域の皆さんが交流できる居場所づくりに取り組んでおります。ほかには、守谷地区のまち協などではイベントの時などにベーゴマやお手玉、輪投げなどの昔遊びを教えながら、地域の子供達と交流するという事業を行ったりもしています。

また、ボランティア活動について、さまざまな特技をお持ちの方から活躍の場を求めるお問い合わせをいただきます。そういう方が必要とされるところで活動できるよう、個人ボランティアの登録制度のとりまとめを行っているところです。

事務局：地域課題の解決には至らないかもしれませんが、社協の方に聞くと何か情報が得られるかもしれないということを高齢者にかかわる人たちが周知をしていくことで参加できる場が広がっていくといいですね。

北部包括：他県で複合的なデイサービス施設があります。フィットネスジムや移動スーパーがあったり管理栄養士が常駐していたりする施設で、そこに行くとも運動や栄養の相談ができて、さらに送迎はデイサービスの空き時間を利用して行っているそうです。こんな施設が守谷にもあったらいいなと思ったので紹介させていただきました。

事務局：例えば、グループホームを利用している高齢者が、施設の活動の中で特技などを披露したり得意なことを教えてみたりというような活動ができれば、介護保険のサービスの利用中にも、自信をつけながら卒業に向けて進んでいけるのではないかと思います。

委員：デイサービス事業所の隣に畑を整備しており、畑や家庭菜園をされている地域の方にご指導をいただきながら農作業を行っています。また、施設の利用者の中で楽器が得意な方に演奏をしてもらい、音楽鑑賞会の様なものを行うなど積極的にデイサービスの中で小グループを作って居場所づくりを行っております。こういった活動が事業所を卒業して退所された後の力になればと思います。

委員：市外の事業所になりますが、園芸クラブやスマホ教室など似たような趣味をお持ちの利用者を集めて「クラブ活動」と称した活動を行っており、好評をいただいております。

委員：細かい作業が得意な方の作品を飾るなど、小さいグループで楽しめるような試みを行ってきましたが、卒業に向けての取組みというのはなかなか出来ていません。今後、そういったことが出来るように考えていきたいです。

委員：地域資源という視点からお話をさせていただきます。私どもは、自助グループにつながる高齢者がどんな特性を持っているかという研究を行っているのですが、自助グループを促進されている理学療法士の先生がいらっしゃいまして、こういった人材がもっと増えればよいなあと思っております。

会長：地域支援事業の中でも、地域活動の場、通いの場を作るということは大きな課題になっております。ボランティアの方だけに頼っていたのでは、長続きしないところでもありますので、社会福祉協議会やデイサービスでの小グループというのは非常に魅力的だと思います。それから自助グループとはどういうものですか。

委員：要支援 1、2 くらいの方が地域で自らやりたい介護予防の形を作って、そのマネジメントに行政が関わっているという形です。

会長：そういう場合、特定の場所を決めて高齢者サロンのようなところに自然と集まってくるというのは難しいと思いますが、どなたかがリーダーシップをとって集めていらっしゃるのですか。

委員：私に関わっている行政では、地域包括支援センターがシルバーリハビリ指導士や地域の方に声掛けをして支援の斡旋をしているようです。

## (2) 地域密着型サービス事業所の指定更新について

事務局から地域密着型サービス事業所「グループホーム アンダンテ」の指定更新について説明を行った。

### 【主な意見等】

委員：このグループホームの詳細を教えてください。

事務局：こちらの施設は、認知症で介護認定のある方である程度の自立生活ができる方が対象の施設です。1階と2階がそれぞれユニットになっており、入居されている方が各階の食堂で食事をされています。食堂がホールの様になっていて、昼間は個室から出てきて、皆さんで塗り絵などの作業をされています。

委員：寝たきりの方は入れないのですか。

事務局：はい。体を動かせる方、自立した生活ができる方というのがこちらのグループホームに入居するための要件にありますので。

委員：自分でお風呂に入るとかですか。

事務局：そうですね。補助が必要な方はいらっしゃると思いますが。

## 4 報告事項

### (1) 総合相談事例報告について

南北の地域包括支援センターから総合相談の事例報告を行った。

北部：ひとり暮らしのアルツハイマー型認知症の高齢者の事例について

南部：個々に支援が必要な家族の支援の事例について

### 【主な意見等】

会長：地域包括支援センターは、要介護の認定をうけている方の相談にも乗っているのですか。

北部包括：要介護認定がある方でも、介護サービスにつながらない場合は、地域包括支援センターで対応することがあります。介護認定の申請代行を行うことがありますが、認定はおりましたが、結果的にケアマネジャーにつながらないという場合などは、そのまま地域包括支援センターで対応したりします。

会長：こういう方は多いのですか。要介護認定の方まで対応していると大変ではありませんか。

北部包括：要介護認定をうけた後、対応している高齢者は割合多くいます。

南部包括：エピソードがある方については、何か起こる可能性が高いので見守りという形で対応しています。

会長：最初の事例については、「認知症初期集中支援チーム」が入るなど、もう少し早く医療的な介入ができればよかったのではないかと思います。

北部包括：「認知症初期集中支援チーム」で対応は行ったのですが、6か月の支援期間が経過したため、総合相談で対応しています。

次回の会議日程について

令和6年3月4日(月)午後1時30分から開催予定。

5 閉会